

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	こども - 17	特別保育事業	☐ 法定受託事務
所管課	こどもみらい部 保育・幼稚園課		評価者 保育・幼稚園課長 福士 学
一般	会計	款 15	項 10 目 10
総合計画上の位置付け	分野名	子育て	施策の方針名 子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園（特定教育・保育施設）に通う児童等	意図	特定教育・保育施設に通う児童等に係る通常保育以外の保育を行うため。
効果	子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の充実を図ることができる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	病児・病後児保育事業の実施、特別保育（延長保育、預かり保育等）への助成	病児・病後児保育事業の実施、特別保育（延長保育、預かり保育等）への助成	病児・病後児保育事業の実施、特別保育（延長保育、預かり保育等）への助成
予算額（千円）	196,602	199,860	
国県支出金	127,134	150,318	
地方債			
その他			
一般財源	69,468	49,542	0
当初人員配置数	2.3	1.8	0.0
人件費（千円）	19,635	15,887	0
事業実績	病児・病後児保育事業の実施、特別保育（延長保育、預かり保育等）への助成		
決算額（千円）	164,690		
国県支出金	108,312		
地方債			
その他			
一般財源	56,378	0	0
人員配置実績数	1.3	0.0	0.0
人件費（千円）	10,768	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名 病児・病後児保育の実施人数	人	903	⇒	835		
	実績につながる活動 医療法人等への委託により病中・病後の預かり体制を整備した。				50,946		
活2	指標名 私立保育所等延長保育事業補助金の支給施設数	施設	28	⇒	28		
	実績につながる活動 通常の開所時間を超えて預かりを行う保育所等に補助金を支出した。				35,186		

活3	指標名	幼稚園型預かり保育補助金の支給施設数	施設	16	⇒	27		
	実績につながる活動	通常の教育時間を超えて預かりを行う幼稚園等に補助金を支出した。				30,973		
活4	指標名	一時預かり事業補助金の支給施設数	施設	9	⇒	10		
	実績につながる活動	一時預かり事業を実施する保育所に補助金を支出した。				24,709		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・病児・病後児保育事業への補助を行うことで、就労を継続できる環境を整備しているが、感染症の流行期には予約が集中し、利用が困難なことがある。 ・延長保育・預かり保育は、概ね保護者の就労形態に対応した時間の開所が実現できている。 ・一時預かり事業は予約方法が園によって異なる等、利便性の向上が課題だと考えている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	延長保育を実施する（11時間を超えて開所する）保育所、認定こども園（保育枠）、地域型保育事業所の割合	%	85	↗	75			2
成2	長時間預かりを実施する幼稚園、認定こども園（幼稚園枠）の割合	%	95	↗	95			3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・待機児童対策として低年齢児に特化した地域型保育事業所を増設したが、地域型保育事業は開所時間が短い傾向にあるため、指標が低下した。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・病児・病後児保育の実施や延長保育・預かり保育等への助成を通じて、多様化する就労形態に柔軟に対応できる体制を維持・確保し、仕事と育児の両立を支援していると評価している。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・延長保育や預かり保育の実施に要する経費は受益者負担のみではカバーできないことから、助成を行うことによって現在の体制が確保できていると評価している。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性	公平性	受益者負担	■ 導入済	□ 導入予定	□ 導入できない
	評価実施年度の方向性		⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り	■ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済	⇒ □ ② 事業内容は見直す	→ □ 拡大	□ 縮小 □ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	⇒ □ ③ 事業は休止又は廃止する		
		□ 他事業と統合済	⇒ □ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
	予算規模の方向性	□ 予算規模は現状維持	■ ⑤ 予算規模は現状維持とする		
		■ 予算規模は拡大済	⇒ □ ⑥ 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	⇒ □ ⑦ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	一部解決	医療的ケア児の保育ニーズが高まってきたことから、市の委託により訪問看護師を民間保育所等に派遣する取組を開始した。	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	本事業は、保護者の就労形態の多様化に対応するための地域インフラとして極めて重要な役割を果たしている。今後も、多様化・複雑化する子育てニーズに対応するため、引き続き事業を着実に実施していく。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項		病児・病後児保育の実施施設数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	病児2施設	病児3施設	病児0施設	病児3施設		病児1施設			
	病後児2施設	病後児2施設	病後児1施設	病後児3施設		病後児1施設			
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		人口比で考えると、近隣市に比べて、病児・病後児保育の提供体制は充実しており、引き続き提供体制を確保していく。							